



第131回 かわさき起業家オーディション  
「かわさきビジネス・アイデアシーズ賞」受賞

# 自動運転車のためのAI特許を活用した セキュリティ事業



株式会社  
Creator's NEXT

---

代表取締役  
窪田 望

今、世界中でAIの開発競争が激化しています。街の課題をAIで解決するスマートシティの構築、AIによる画像認識を通じた遠隔医療、地質管理や農作物管理にAIを応用したスマート農業など、医療、農業、電力、金融、製造業といったあらゆる分野において、AIは必要不可欠なものになりつつあります。

私たちCreator's NEXTは、AIの特許技術を活用した事業を展開する企業です。現在はAGI (Artificial general intelligence : 汎用人工知能)の研究開発に注力しています。人間のように学習し、行動できる汎用人工知能は、未だ実用化には至っていませんが、10年後には普及するだろうといわれています。当社は、このAGIに関する特許を、国内と海外で10件取得しており、その技術を自動運転システムのセキュリティ領域へ適応させました。これによって、完全自動運転車の社会実装が大きく近づいています。

起業家としての私の最終目標は「GAFAM (ガーファム) \*を倒す」ことです。今、日本の東証プライム上場企業の時価総額をすべて合わせても、アメリカのGAFAM 5社の時価総額には及びません。こうした状況を、私たちのAI技術によって改革し、若者たちが未来に夢を描ける日本をつくっていきたいと思っています。

\*アメリカの大手企業Google、Apple、Facebook (現meta)、Amazon、Microsoftの5社を表す用語

## ■受賞したビジネスに至った経緯

私は、大学在学中の19歳の時に起業しました。当初はWeb解析をメインに行っていましたが、AIの可能性に興味を持ち研究開発に着手し、AGIに関する10の特許を国内と海外で取得しています。

まだ実用化には至っていないAGIですが、どの資料や論文を見ても「10年後には実現される」と記されています。それを見たときに「チャンスだ」と思いました。今のタイミングでAGIの研究開発に全力を注いでおけば、「AGIの実用化」という前人未到の偉業を、当社が成し遂げられるかもしれないと閃きました。10年後の市場を、いち早く取りに行こうと考えたのです。

その後、AGIの実用化に向けて、どの分野に注力すべきかを模索していたところ、たどり着いたのが「自動運転システム」でした。GAFAMを倒すことを目指している私のアンテナに引っかかったのです。というのも、当時AIによる自動運転のセキュリティ領域において、圧倒的な技術力を持っているのが、何を隠そうGoogleだったからです。

「自動車は自動車会社がつくるもの」というこれまでの常識は変わり、今後はGoogleのような企業がソフトとしての自動運転車サービスの根幹を担い、普及させていくことになるでしょう。だからこそ、あえて自動運転のセキュリティ領域に挑むことに決めました。この分野の技術で成功すれば、はっきりとGoogleを越えることができると考えたからです。

## ■サービスの特徴

私たちが提供するものは、当社で保有する5つのAI特許を活用し、自動運転システムへのサイバー攻撃を未然に防ぐシステムです。

AIの性能を狂わせるサイバー攻撃は、AGI実用化の大きな妨げとなっています。当然、自動運転では何よりも安全性が求められるため、サイバー攻撃に対応するセキュリティ領域は、最も重視されています。

自動運転システムは、通行人やガードレール、道路標識、道路などをAIによって認識し、分類する「画像認識システム」をベースにつくられます。認識の精度が高ければ高いほど、自動運転の精度も高くなるのが特長です。しかし、その認識する情報自体を書き替えて、誤認させるようなタイプのサイバー攻撃が存在しているのです。

例えば、「止まれ」と書いてある標識を「40キロ制限」と認識させる。すると、本来は車が止まらなければならぬ場所を40キロで直進してしまうことになり、重大な事故を発生させる恐れがあります。

今まで、こうしたサイバー攻撃に対抗するAIのセキュリティ領域においては、Googleが世界一の論文を発表していました。しかし、私たちが開発したシステムはGoogleが発表している研究内容よりも、精度で約2.2%、頑健性で約7.8%を上回ることができました。セキュリティ課題だけでなく、性能そのものも向上させ、世界一の技術を確立しています。

## ■現状の課題

幸いなことに、当社のサービスに興味を持っていただけの企業が増えており、多くの方からお問い合わせをいただくようになりました。ところが現状は、私一人で対応を行っているため、連絡をいただいてからお打ち合わせまでに1か月以上の期間が空いてしまっている状態です。

私自身、スタートアップ企業の価値はスピードにあると感じておりますので、現在スタッフが事前対応で

きるようにするなど、体制を整えているところです。組織としての体制の在り方には、まだ課題が残っていると感じています。

## ■今後の展開

このサービスのユーザー、ターゲットは全世界の自動車メーカーです。サイバー攻撃を防御するソフトウェアを組み込んだチップを開発し、各自動車メーカーに供給していきます。

しかし、自動運転は今後の展開の入り口に過ぎません。ゆくゆくは、さまざまな企業とAI活用に向けた共同開発を行い、多くのジョイントベンチャー（JV）を立ち上げて、グループ化していくことを見据えています。

大きなビジネスを1社の力で実現しようとするのは難しく、中途半端に終わってしまう可能性が高いです。しかしAIを活用したいと考える企業と共にJVを量産し、グループ企業として一体で取り組むことができれば、成功はより近いものになります。そして、Creator's NEXTはAGIの研究開発にフォーカスし、グループ会社に最先端の技術を提供するホールディングカンパニーになることを目指します。

すでにAIを利用した新規事業を模索するいくつかの上場企業に声を掛け、興味を持っていただいています。私たちの持つ最先端のAI技術と、上場企業が保有するビッグデータや組織力を組み合わせれば、今までにない新しい価値を生み出すことができるかもしれません。

「GAFAMを倒す」という私の目標を達成できるかどうかは、これからどれだけ多くのJVを実現し、ユニコーン企業(\*)として量産できるかにかかっています。

\*評価額が1000億円を超える、設立10年以内の非上場のベンチャー企業のこと

## ■エントリーを検討中の方へ一言

川崎市は日本が誇る技術のメッカであり、プロフェッショナルの方々が集まる研究開発都市として非常に有名な場所です。応募を決めた理由は、この地で自分たちの技術がどれくらい評価されるのかを見定めたいと思ったからです。受賞後は、当社のピッチを見てくださった方から連絡をいただいたり、新しい出会いがあったりと、チャンスが広がったことを実感しています。

応募を迷っていらっしゃる方は、おそらく「応募してもどれほど効果があるか分からない。それなら別のことに時間を使うべきなのでは」と考えているのかもしれませんが、でも、出場してみないと見えない景色は確実に存在します。それは「自分一人では達成できないことがたくさんある」という気づきです。

「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」という言葉がありますが、大きな目標を成し遂げるためには、共に遠くまで行ってくれる「みんな」が必要です。その点、川崎市には、豊かな技術や経験を持つ方がたくさんいます。かわさき起業家オーディションは、そうした素晴らしい方々をつながりを持つことができる絶好の舞台です。迷うことなく、一歩を踏み出されると良いのではないのでしょうか。

会社名：株式会社Creator's NEXT

住所：〒108-0075

東京都港区港南1丁目9番36号

NTT DATA品川ビル 13階

電話番号：☎03-4405-0319

ホームページ：https://cnxt.jp/